

令和3年度1年生38人、2年生27人でスタート

研究科長 八幡(谷口)彩子



教職大学院は平成29年の開設当初、学校教育分野を主軸とし、教科教育や特別支援教育の指導力向上に課題がありました

令和2年に3コース制を導入し、入学定員30名に拡充しました。今年はその完成年度にあたります。

各自が専攻するコースについて、深い洞察・実践を極めるとともに、他のコースにも関心を持ち、相互に交流を図ってください。学校教育全体の動向を俯瞰しながら、専門性を発揮して新しい学校を実現できる力量を培っていただきますよう期待しております。

研究副科長 田口 浩継



大学院で得た知識・技能を、教育実践研究等で行う授業や学級経営で活かし、効果が見られるとさらに、院での学習意欲

が向上します。

授業や学級経営で悩んでいる時講義の中で解決の糸口が見い出せ実践でも効果が見られると、さらに授業や学級経営のやりがいや奥深さが見えてきます。本大学院には、専門的な知識と実践的指導力を持つ教員・学生が揃っています。理論と実践を往還できる力が、今後の教師生活でも大いに役立つ力となることを祈念しています。

専攻長 藤中 隆久



我が大学院を、専攻長自ら、party schoolと呼んでいます。party schoolとは、勉強もせずにパーティばかりしているという

悪い意味もありますが、よく遊びよく学ぶ大学という良い意味もあるのです。パーティも出来ないコロナ禍の現状ですが、楽しいことはパーティだけではないはずです。是非、学びの楽しさを知ってもらいたいと思います。熊本大学教職大学院を学ぶ楽しさがいっぱいある party school にしましょう。我々教員一同、皆さんの学びを楽しくすることに全力を注ぎます。

学校教育実践高度化コースの紹介



コース長 ハツ塚 一郎

本コースもコロナ禍で大きな影響を受けていますが、「授業実践」「生徒指導」「学級・学校経営」の3領域で実務教員と研究者教員が連携し、感染対策に十分な配慮を払いつつオンライン授業にも工夫を凝らすなどの努力を重ねています。現任校や連携協力校、関係諸機関にも多くのご配慮をいただきながら、現場での実習、調査や授業も例年の水準で展開できることを目指しています。現職派遣院生とストレートマスターが同じ授業を受講し、

対話を通して刺激し合い、お互いの実践力を高め合う、熊大教職大学院独自の良さは今年も健在です。

現職教員学生 遠坂 幸子 現場での実践をひたすら頑張ってきた現職教員にとって、教職大学院での学びは発見の連続です。学校教育の本質に目を向けながら実践の学び直しができ、考え方が進化します！

ストレートマスター 木山 秀太 学校教育のプロが行う講義は、院生同士の本気の対話を引き出し、各々が培ってきた経験や理論を、より洗練されたものへと変化させ、「学び」の楽しさに気づかせてくれます！